

# くまもとの カラー



## くまもとのカラー

カラーは、そのすらりとした茎と、先につくろうと状の花（仏炎苞・ぶつえんほう）が、洗練されたスマートな印象を与えます。

熊本では、熊本市や八代地域を中心に生産され、周年出荷されています。熊本の水の美しさを象徴するように、カラーの花も、みずみずしく清楚な輝きです。

### 灌水

湿地性カラーは、定植後周年にわたって15 程度の地下水または湧き水をかけ流します。カラーの品質には水質が大きく影響するため、水温の管理や水の停滞がないことなど、水の管理が大変重要になります。

### 適地性

湿地性カラーの生産適地は、湧水又は地下水の水量、水質、温度等の条件が良く、かけ流しのできる排水のよい水田が適しています。くまもとはその豊かな地下水により、カラーの生産地として大変適しており、東京への出荷量も全国2位を占めるなど、有数の生産県となっています。

また阿蘇地域などでは、湿地性カラーと比較して生産にあまり水を必要としない、畑カラーの生産も行われています。



## くまもとのカラー

## くまもとのカラー データ集

栽培面積	11.5ha	(平成18年)
収穫量	4,981千本	(平成18年)
栽培地域	熊本市、八代地域	
収穫時期	11月～6月	
出荷時期	11月～6月	
出回り時期	11月～6月	
東京・大阪市場における取扱量の県産シェアと順位	東京都2位(5.5%)	(平成18年)
県内での入手可能時期・場所	11月～6月	県内の生花店等で入手可能
県外への主な出荷先	東京、近畿地方	



## 問い合わせ先

熊本県花き協会

096-333-2392